



2022年12月19日

各位

会社名 株式会社パシフィックネット  
代表者名 代表取締役社長 上田 満弘  
(コード番号 3021 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役副社長 大江 正巳  
(電話番号 03-5730-1442)

## 当社取締役会の実効性の分析・評価の結果について

当社取締役会は、東京証券取引所の定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性について分析・評価を行いました。その結果の概要について下記にお知らせいたします。

### 記

#### 1. 分析・評価の方法

- ① 実施時期 2022年9月
- ② 回答者 全取締役および監査役(社外役員含む計11名)
- ③ 実施要項 「取締役会評価に関する質問票」による無記名方式での評価
- ④ 質問事項
  - I. 取締役会の構成
  - II. 取締役会の運営
  - III. 取締役会の議題
  - IV. 取締役会を支える体制

また、「取締役会評価に関する質問票」においては、各取締役・各監査役より、当社取締役会の長所ならびに改善を検討すべき点に関するコメントや、その他自由な意見や提案を併せて求める形式を採用いたしました。

#### 2. 今回(2022年9月実施)の取締役会評価結果の概要

概ね前回課題に対する現状認識・改善評価は以下の通りです。

- (1) 女性役員登用やIT関連に深い知見を持った役員の登用については今後も取り組むべき課題とし、構成員の性別やバックグラウンド等において取締役会・監査役会の多様性確保に努めていく必要がある。
- (2) 資料の配布時期について、引き続き早期配布することにより事前検討の時間を確保し、更なる議論の充実化・活性化を図る必要がある。
- (3) 代表取締役の後継者計画については、指名・報酬委員会において議論はされている。今後さらに議論を重ねていく必要がある。
- (4) 取締役・監査役は、様々な経歴や専門性を有しており、現状持に大きな問題はないものの、取締役・監査役がそれぞれ期待される役割・責務を適切に果たすため、必要な知識を習得し、見識を広める機会の創出に努めていく必要がある。

なお、独立社外役員の全員から、自由に発言している、質問にも制限が設けられていない、という回答があり、ガバナンスは有効に機能していると考えております。

#### 3. 今後の取り組み

当社取締役会は、本結果を踏まえ、引き続き、上記の課題に重点的に取り組むとともに、取締役会のより高い実効性の確保とその維持を図ってまいります。

また、取締役会の実効性に関する分析・評価は今後も継続的に実施するとともに、評価手法等の改善も検討してまいります。

<2022年取締役会評価結果>

前回（2021年9月実施）回答：回答数 11名  
 今回（2022年9月実施）回答：回答数 11名

